



ジュネーブ便り

第20回

インダストリアル本部造船・船舶解撤
ICT・電機・電子部門担当部長

松崎 寛

スイスにおける新型コロナウイルスの状況② ～ワクチン接種と自己検査キットの効果は絶大～

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）は変異株による感染拡大の影響もあり、世界全体では未だ収束する気配はありません。5月14日時点で、同ウイルス感染者は世界全体で1・6億人以上、死者も330万人を超え、1年前と比べ感染者数は160倍、死者数は66倍と激増しています。一方で、ワクチン接種の進む一部の国々では感染者数が減少に転じ、ロックダウンも段階的に解除する傾向にあります。スイスにおいても急ピッチでワクチン接種が実施されており、4月下旬から感染者数、死者数、陽性率はともに減少しています。また、新型コロナウイルス抗原自己検査キットの無料配布が広く普及し、個人が自宅で検査できるようになったことで特に無症状陽性者の把握が迅速にできるようになりました。本稿では、2020年春号でお伝えした

「スイスにおける新型コロナウイルスの状況」続編として、ワクチン接種の効果によって徐々にコロナの収束が見通せるようになってきたスイスにおける現状と今後の規制緩和について報告したいと思います。

スイスのワクチン接種状況とその効果

スイスでは3月26日、連邦政府が7月末までに希望者全員がワクチン接種を受けられる体制を整えると発表して以降、接種会場・人員の確保が急ピッチで進められ、希望者への接種が加速しています。3月中旬までに、75歳以上と高齢者施設スタッフのうち希望者全員が1回目の接種を受け、65歳以上と重症化しやすい高リスクグループの人は、4月末までに最初の接種が終わっています。大規模な接種会場の確保が各地で進むなか、4月19日から接種対象は45歳以上に

拡大され、5月9日時点で人口の約4割が少なくとも1回のワクチン接種を完了しています。厳しいロックダウンにも関わらず年初より変異株の猛威を受けて急増していた感染者数は、4月26日に5313人（1日の新規感染者数）のピークを記録したのち減少に転じ、5月13日には1539人とピーク時の約3割減となりました。ワクチン接種が絶大な効果を発揮している証左であることは言うまでもありません。

筆者の暮らすジュネーブ州では、市内8か所ある（うち1か所は例年モーターショーが開催されるイベント会場に1日4000名規模の接種ブースを設置）接種会場で1週間あたり約2万回の接種が行われています（現時点では希望する45歳以上全員が対象）。接種できるワクチンはファイザー・ビオンテック社かモデルナ社のmRNAワクチンで（アストラ・ゼネ

カなど他社のワクチンは安全性が確認されていないとして、現時点では未承認、接種時にどちらのワクチンかが告げられます。48歳の筆者は5月10日に1回目の接種を受けました。申し込みから接種までの流れは次の通りです。

- 1 4月19日ウェブで申し込み。名前、生年月日、希望会場、保険証番号など5分で入力完了。（電話でも申し込み可能）
- 2 数日後、接種会場場所と1回目、2回目の日時が記載されたSMSが届く（写真1）。（日時の変更はウェブか電話で可能。）
- 3 接種当日、会場入口で身分証明書（筆者の場合は在留許可証）と保険証を提示。受付にて既往症やアレルギーなどの問診票を作成してもらい、同意後に署名。
- 4 接種ブース（写真2）に案内され、数分後に医師より接種ワクチンはファイザーであることを告げられ、

Hello KAN MATSUZAKI,
Find your appointments for the
COVID vaccination below:
Place: M3 sanitrade, Route de
Chêne 20, Genève
Appointment dose 1:
10.05.2021 -> 15:30
Dose 2:
07.06.2021 -> 11:10
Manage your appointments:
[https://ge.covid-vaccin.ch/
vaccinations/682659_248b6cbc1e
b2](https://ge.covid-vaccin.ch/vaccinations/682659_248b6cbc1eb2)
Thank you and have a nice day

写真1: ワクチン接種登録後にSMSで届いたメッセージ



写真2: 筆者がワクチン接種を受けた会場のブース



写真3: 近所の薬局で無料配布された抗原自己検査キット。スイスのロッシュ製。



写真4: 中学校で月に1回配布されるスイス製のマスク。

本人もラベルを確認。接種中は特に痛みなし。

5 接種後、15分間のタイマーが鳴るまでブース内で待機。この間に1回目の接種証明書が発行され、2回目の日時の再確認が行われた。

6 会場入りから退出まで約30分。接種当日夜から接種部位周辺に軽い筋肉痛の副反応はあったものの、数日で解消。

申し込みから接種まで一切の混乱もなくスムーズ進み、州政府によるしっかりとした接種体制づくりに感心しました。

自己検査キットの無料化

連邦政府は年初からの感染者の急増に対応するため、2021年3月15日から全国民(越境労働者、外国人も対象)の抗原簡易検査を無料化しました。これにより、薬局や検査センター

にて1人につき月最大5回分の抗原自己検査キット(写真3)を無料で受け取ることが出来ます。4人家族の筆宅では先月、20回分の検査キットを近所の薬局で受け取りました。この簡易検査では、鼻内部を綿棒で拭いた後、付属の液体に浸し、検査キット本体に数滴を滴下し、15分後に陰性、陽性、再検査のいずれかのラインが表示され結果が判明します。この検査は家庭内における無症状陽性者の把握が迅速にできるだけではなく、高齢者や高リスクグループと面会する際の目安ともなり、結果的には逼迫する医療体制への軽減にもつながっています。我が家では例えば、中学生の娘が65歳のピアノ教師の室内対面レッスンを受ける前に、自己検査を行うように心掛けています。ジュネーブ州ではこのほか、月に1回スイス製のマスク50枚(写真4)を全

今後の規制緩和

の公立中学生に配布したり、公立高校ではハンドクリナーを配布するなど、無症状の陽性者になり易い若者への感染対策に力を入れています。

スイスでは変異株の拡大に伴い、レストランの営業禁止、テレワークの義務化、マスクを着用しない人や無断でのイベント開催、私的な集まりの人数制限に違反した人は50〜200フラン(約5千〜2万4千円)の罰金の対象とするなど、厳しいロックダウンを強いてきました。しかし、ワクチン接種率の上昇に伴い感染者が減少傾向にあることから、5月31日からレストランの営業を再開するほか、室内では観客最大100人、室外では同300人のイベントを解禁し、アマチュアスポーツの人数制限も一部例外を除き、15人から30人に引き上げる予

定となっています。また、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が済んだ人に証明書を今夏までに導入する予定で、証明書保持者は規制の対象外とするなど、通常に近い生活を営むことを目指しています。

第4波に直面し、医療崩壊も散見される日本では、ワクチン確保・体制整備の遅延、強制力のない緊急事態宣言、感染防止力の低いアベノマスク配布、不安を煽るメディア(主にワイドショー)のコロナ報道など、本格的な収束にむけた議論から遠ざかるような射的を射ない対策が続いているように思えてなりません。



松崎 寛 まつざき かん

1998年金属労協に入局。国際局、政策局で主任として産業政策、環境政策の立案をはじめ海外労使紛争防止ツールの作成などに活躍。2010年9月1日から家族同伴でIMF本部(現インターストリオール)に赴任。現在の担当役職は、産業政策・多国籍企業政策グループの造船・船舶解撤/ICT・電機・電子部門担当部長。